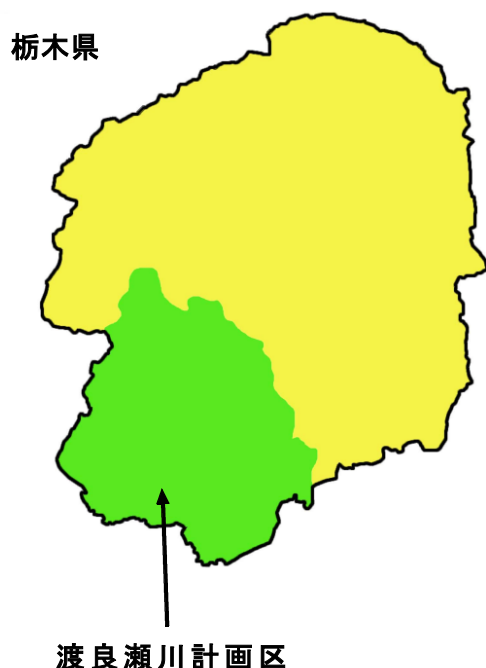


# 平成23年度に樹立・策定する渡良瀬川計画区の概要

## 1 現行計画の概要



地藏岳（鹿沼市）



### (1) 森林計画の概要

#### ア 位置

当計画区は栃木県南西部に位置し、足利市、栃木市、佐野市、鹿沼市、小山市、下野市、上都賀郡、下都賀郡にある国有林野3千haを対象。

#### イ 国有林の特徴

- ・ 鹿沼地区、佐野地区  
スギ・ヒノキを主体とした人工林が多く、下流集落等の重要な水源。
- ・ 足利地区  
足利市街の近郊に、身近な散策場所として「大坊山風景林」を設定。

#### ウ 森林資源の状況

- ・ 天然林が約1千ha、人工林が約2千ha。
- ・ 人工林のうち、約9割が間伐適期（21年生～55年生）。

#### エ 機能類型別面積

水土保持林が約2.6千ha、森林と人との共生林が約0.3千ha、資源の循環利用林が約0.1千ha。

## (2) 現行計画の概要

### ア レクリエーションの森

風景林	1箇所	230 ha
その他	1箇所	0.05 ha

### イ 伐採・保育事業量

主伐	17,458 m <sup>3</sup> (40ha)
間伐	45,504 m <sup>3</sup> (857ha)
造林	41 ha
下刈	163 ha
つる切	8 ha
除伐	15 ha
枝打	19 ha

### ウ 林道の事業量

林道開設	1路線	2,500 m
林道改良	4路線	130 m

### エ 治山の事業量

保安林整備	100 ha
-------	--------



大坊山風景林からの眺望（足利市）



百川国有林列状間伐箇所

## 2 次期計画の基本的な考え方

次期計画では、引き続き、国土の保全、水源のかん養のほか、地球温暖化の防止などにも取り組んで行く考えです。

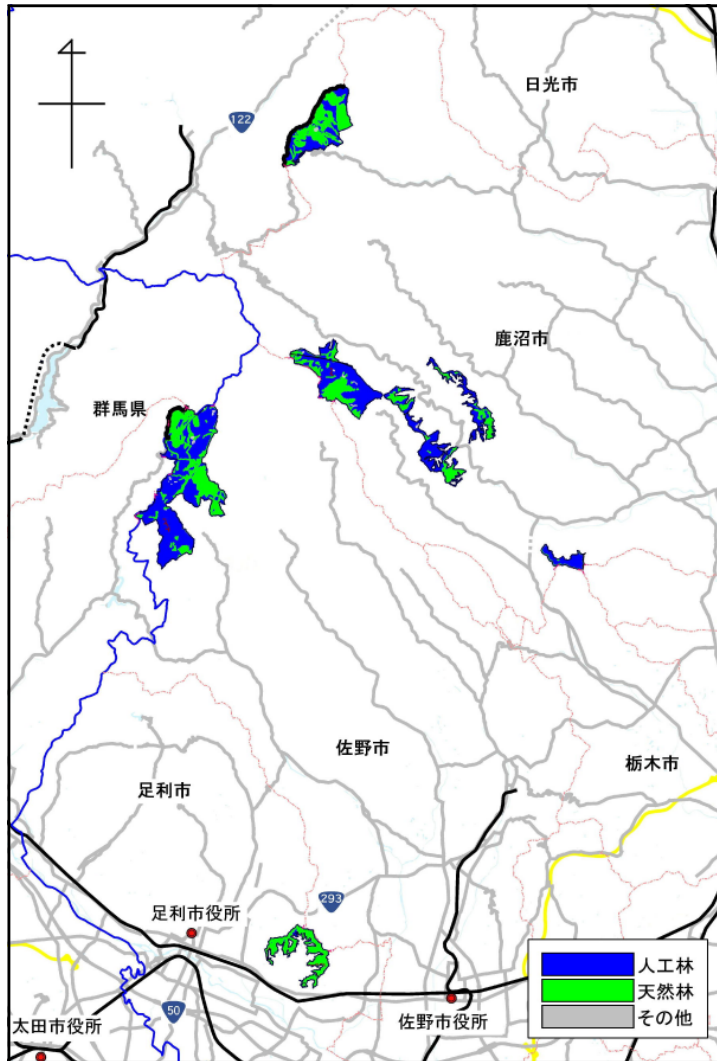
- (1) 地球温暖化防止のための森林吸収源対策やそれ以外の公益的機能の発揮のため、間伐などの森林整備を推進。
- (2) ボランティア団体などによる森林づくりへの支援。
- (3) 治山事業により保安林の整備を計画的に推進。
- (4) 路網と高機能林業機械を組み合わせた低コスト・効率的な作業の普及。
- (5) ツキノワグマ・ニホンジカによる食害・剥皮防止対策の推進。

## 市町村別森林面積等

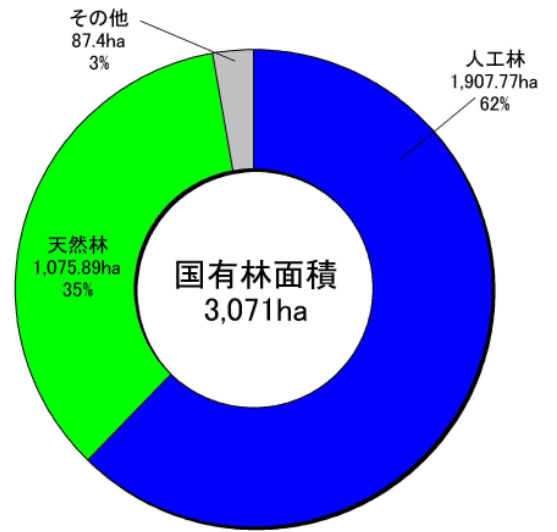
市町村名	市町村面積 (ha)	森林面積 (ha)	うち国有林 (ha)	森林率 (%)	国有林率 (%)
足利市	17,782	7,944	236	45	3
栃木市	25,283	5,562	-	22	-
佐野市	35,607	21,850	1,245	61	6
鹿沼市	49,062	33,788	1,590	69	5
小山市	17,161	573	-	3	-
下野市	7,458	312	-	4	-
西方町	3,200	1,312	-	41	-
壬生町	6,108	410	-	7	-
野木町	3,025	218	-	7	-
岩舟町	4,674	1,524	-	33	-
計	169,360	73,406	3,071	43	4

## 人工林・天然林

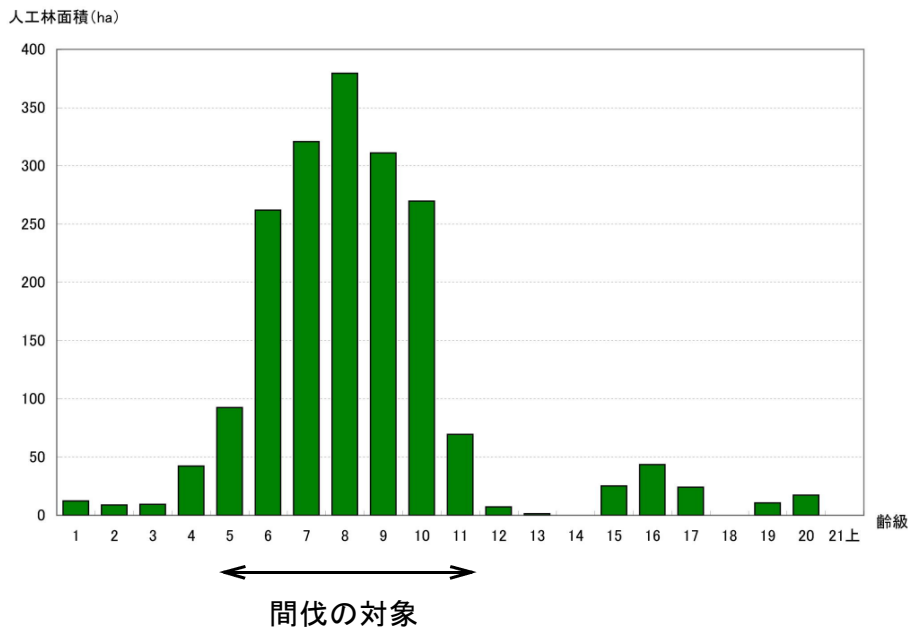
### 人工林・天然林の分布状況



### 人工林・天然林別割合



### 人工林の齢級別面積



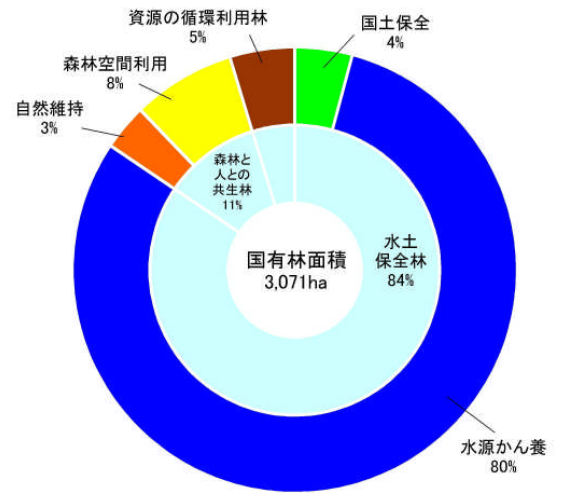
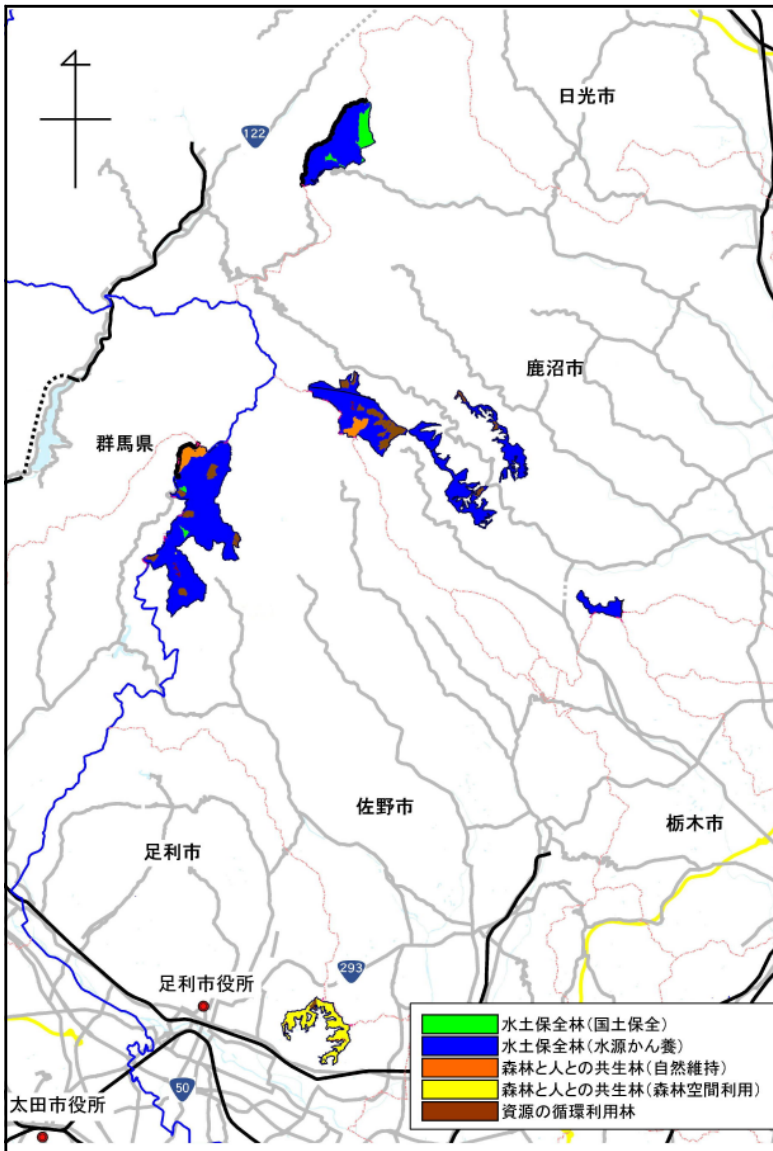
人工林の齢級別では5齢級（21年生）～11齢級（55年生）が多く、間伐適期となる森林が多いことから、計画的な間伐を実施する必要があります。

機能類型

機能類型区分について

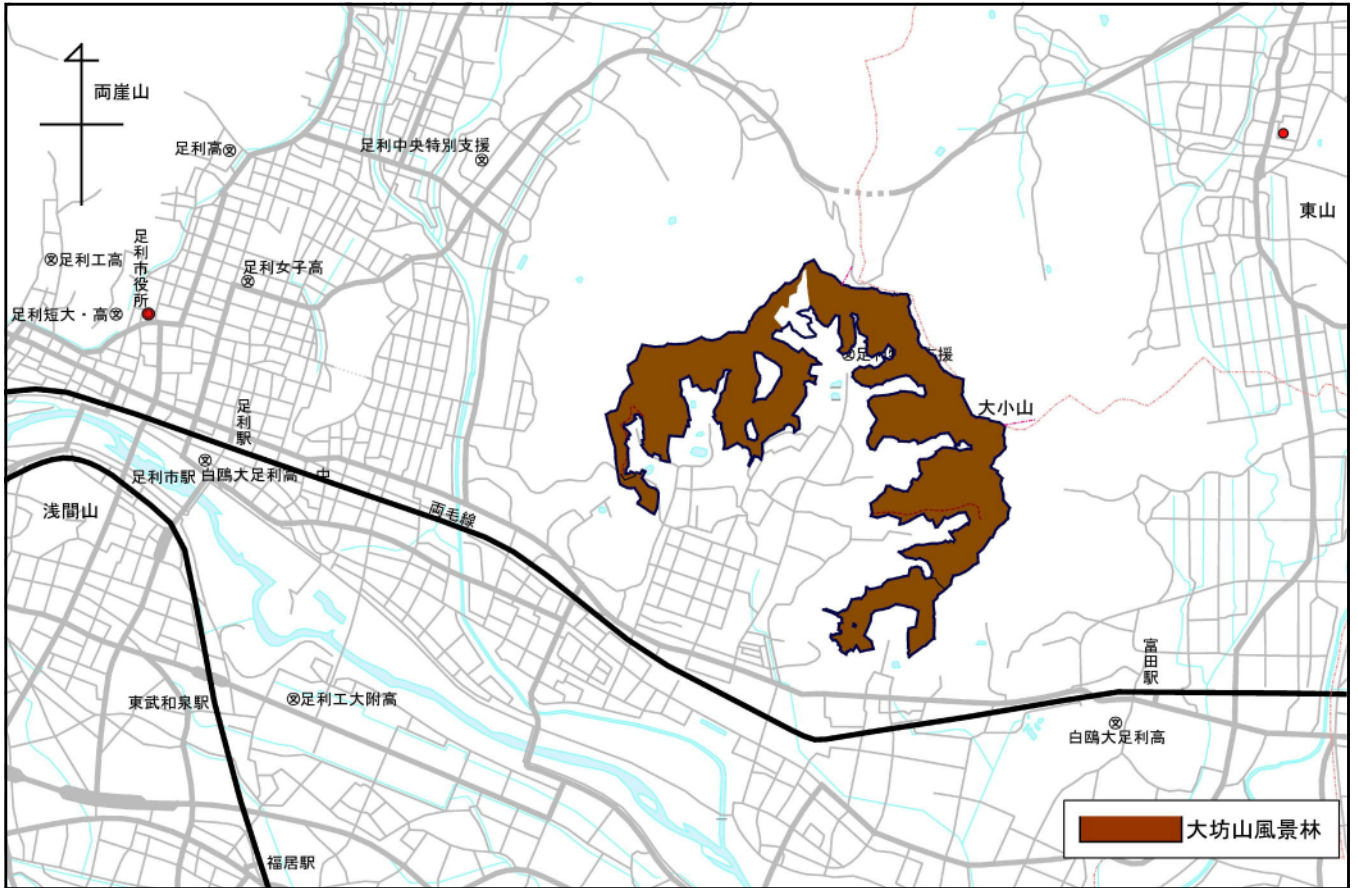
国有林を水土保持林、森林と人との共生林、資源の循環利用林に区分しそれぞれの機能類型にふさわしい管理経営を推進。

水土保持林 (国土保全タイプ・水源かん養タイプ)	森林と人との共生林 (自然維持タイプ・森林空間利用タイプ)	資源の循環利用林
目標とする森林の姿		
土砂流出・崩壊の防備、水源のかん養等安全で快適な国民生活を確保することを重視する森林	原生的な森林生態系等貴重な自然環境の保全や、国民と自然のふれあいの場としての利用を重視する森林	環境に対する負荷が少なく、再生産が可能な素材である木材の効率的な生産を行うことを重視する森林
森林の取扱い		
樹根や表土の保全、下層植生の発達が期待される育成複層林施業、長伐期施業等を推進	野生動植物の生息・生育する森林の保護・整備、森林浴や自然観察等保健・文化・教育的な活動の場の整備、自然景観の維持等を推進	森林の健全性を確保しつつ、多様化する木材需給に応じた林木を育成するために適切な更新、保育及び間伐を推進



当計画区の機能類型は、水土保持林84%、（国土保全タイプ4%、水源かん養タイプ80%）、森林と人との共生林11%（自然維持タイプ3%、森林空間利用タイプ8%）、資源の循環利用林5%となっています。

レクリエーションの森概要



名称	特徴	面積(ha)
風景林	レクリエーション利用上の近景林、遠景林として風致の維持に配慮する必要がある地域	230



大坊山風景林